

# 「ゴーゴー・しんご」

## 飯塚市議会議員 うえの伸五の 市政報告



皆さん、こんにちは 上野伸五です。

先の議会においての一般質問では、

- ・地域の活性化にも寄与する「地域に住民と協働のお店をつくる」事について、調査研究することを提言いたしました。
- ・飯塚市民の命と財産を守るために、以前から要望しておりました「指定避難所等のバリアフリー化」について進捗状況を確認するとともに、「防災無線の更なる充実」を要望いたしました。

また、庁舎建設費増額の議案に反対し、住民説明会開催の請願に賛成いたしました。

以下に、それぞれの討論の内容をご紹介します。

### 庁舎建設費の増額議案に対する反対討論。

議案第83号 平成26年度飯塚市一般会計補正予算第4号に反対の立場で討論いたします。

この議案は庁舎の全体建設費が17億円増額されるというものです。この金額は工事費で25%の増、全体事業費で18%という大幅な増額となります。

ところが、委員会での質疑では詳細なチェックが行われたどうか大変曖昧であり、各部署の工事費削減の可能性の議論さえも行われた経緯はないようです。

これが、民間の工事であれば、自宅の建設であれば、25%もの工事費アップの詳細を入念にチェックすることは、ごく当たり前の事だと思いますし、建設すること自体も一度立ち止まって再考がなされるに違いありません。

50年100年に一度の大事業であるからこそ、慎重に運ばなければならない部分もあると思います。

建設コストが高騰している昨今、民間では、汎用品でこと足る部分に特殊部材を当てはめるなど、設計金額を不当に高額にする過剰設計が問題となっているようです。

増額された金額が適正なのかどうかを確認するように、セカンドオピニオンの提案をいたしました。飯塚市は第三者にチェックを依頼することは考えていないという答弁でした。

私は賛否を決める際に、自分自身が市民の方々にきちんと説明できるかどうかということを大きな基準の1つとしています。

委員会の質疑の中において、この議案の提案根拠のあいまいさが際立ち、庁舎建設に対する合併特例債の活用期限には2年程度の余裕がある事などを総合的に鑑みましたが、本議案については賛成することはできないという結果に至りました。以上をもちまして、討論を終わります。

## 住民説明会開催の請願に対する賛成討論。

請願第14号に賛成の立場で討論いたします。全体で17億円もの庁舎建設の増額を最終的に負担するのは市民の皆さんです。

25%もの建設費の増額理由を説明する事は、行政として当然の義務と捉えるべきであろうと思います。

私、先ほど議案第83号の反対討論で申し上げましたけども、庁舎建設予算の増額については、自分自身で納得して市民の皆さんに説明することはできませんので、ぜひ説明会を開催していただきたいと思っておりますし、

開催に当たりましては協働のまちづくりの大きな柱として市内全域に設立されました12地区のまちづくり協議会、それぞれにおいてしっかりと説明を行っていただきたいと思っております。以上で討論を終わります。

この度、梅田嘉明 元穎田町長より「うへの伸五後援会」  
会長の大役を受け継ぎました。小田原嘉朋です。

今回は飯塚市全体に選挙区が広がり初めての選挙となります。

上野伸五の地元の穎田地区は約5000人の有権者と仮定し60%の投票率で3000票、このうち約1000票は公明党や民主党、共産党など公党の支持者と考えられ、残りは2000票となります。

飯塚市全体で考えれば、有権者数は約10万人、投票率を60%と見込めば、6万票、立候補者が30人と仮定すると、単純な割り算で一人平均2000票となります。

つまり、複数の立候補者が予定されている穎田地区で、  
全ての票を「上野伸五」に投じていただいたとしても、  
当落ライン上という厳しい現状です。

上野伸五は「愛する穎田を守りたい」をスローガンに立候補した8年前、  
地元の皆さま方のご支援を受けて見事に当選を果たし、  
現在まで市政において大いに活躍をしております。

この8年の間、地元は飯塚市の他地域に比べ、大きく変わりました。

教育特区の流れをつなぎ、全国でもまれにみる図書館や公民館 自校式給食  
併設の小中学校や、市内初となる こども園をはじめ、病院、透析センター、  
子ども達の通所型療養施設、養護老人ホームなどの新築は、  
景色を一変させることとなりました。

また、住民が反対する山林売買の阻止や、5000万円を超える自治公民館の  
委譲補助金、水害防止施策として河川堤防や貯水池の整備、老朽化した  
水道管の布設替え、内水排水ポンプ設置工事、消防団員の待遇改善など  
命と財産を守る数々の施策も実現させています。

さらに、まちづくり協議会の発展、空き家やペットからの被害対策条例の  
制定、複数の企業誘致、2か所の県道整備や口原橋の架け替え工事、公営  
団地の外壁整備などの改修、雇用促進住宅の活用など、  
様々な人口増加施策の進言も行っております。

コミュニティバスや乗合タクシーについては、  
スーパーや駅のある鯉田地域への乗り入れを実現してくれました、  
また、無料体験制度の提言や地元への運営移譲の要望など、  
上野伸五の活動は幅広く広範囲に及んでいます。

また議会の場においても、  
庁舎建設予算大增額への反対や幹部職員の天下り撤廃、  
市長など4役の退職金、休憩時間以外の喫煙禁止についての質疑など、  
今までうやむやにされてきた様々な課題や疑問についても、  
正義感と勇気をもって行動し立ち向かうことが出来る上野伸五であり、  
政治活動における類まれなるバランス感覚には目を見張るものがあります。

しかし、本人は49歳とまだまだ若輩で、皆さま方にはご不満やご批判なども多々あるとは存じますが、2期8年という短い期間でこれだけの実績を築き上げたことは事実であり、議員としての資質と大きな将来性を兼ね備えていると確信しております。

私どもは、飯塚市の一地域である颯田地区だけが良くなればそれで良い等とは思っておりません。

高齢化や人口減少が懸念されている中、  
選挙区が飯塚市全域に広がるこの機会をとらえて、  
今まで上野伸五が培ってきた経験と実績を、  
皆様方の各地域の活性化のために、ひいては飯塚市全体の発展のために役立てていただきたいと考えています。

県内4番目の市である、飯塚市議会28名の中でも49歳と若く、議員歴も決して長くはない中、大いに働き、おかしな事にはおかしいとキチンと言葉に出して、行動できる「上野伸五」は、故郷の将来や私たちの日常生活のために、必ず必要な議員であります。

「すべては愛する故郷のために」タブーなき挑戦を続けようとする  
「上野伸五」を、これまで以上の大きなご支持と熱いご支援で支えていただき、共に盛り上げ続けていただきますように、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

すべては愛する故郷のために  
タブーなき挑戦を続けます。

何か気付かれた事がありましたら、お気軽にお知らせ下さい。

【連絡先 電話番号】 090(3079)0470

【メールアドレス】 info@ueno-shingo.com